

緑が丘小学校「まなびフェスト」

学校教育目標『生き生きとしたみどりの子』

	かしこい子(知)	たくましい子(体)	思いやりのある子(徳)
生きて働く知識及び技能	学んだ知識・技能を生活や学習に活用する子	健康で安全な生活の仕方を身に付けている子	生命の大切さが分かり、きまりを守る子
未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等	「考えるための技法」を使って、多面的・論理的に考え表現する子	「考えるための技法」を使って、試行錯誤しながら考え判断する子	「考えるための技法」を使って、他者の考えを生かしながら考えを深める子
学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等	自分の学習状況を自覚し、調整しながら学ぶ子	あきらめずに粘り強く最後までやり抜く子	主体的に他者と協働しながら学習や生活を進める子

【目指す子供の姿】



共通する資質・能力を育むために

- 子供が人とつながり、安心感をもって、楽しく生活できるようにします。
- 子供が目標(目的)を設定し、その目標を達成できるようにします。
- 子供が自分で考え、友達と力を合わせて学校生活をつくるようにします。
- 子供が社会生活の中で使うことのできる知識や技能を獲得できるようにします。

かしこい子(知)

- 子供が自分の考えをもち、友達と話し合っ て考えを深める力を育みます。
- 子供が問題に粘り強く取り組み、苦手を克服できるようにします。
- 子供が自分で計画を立て、振り返って次の学習を考えることができるようにします。

たくましい子(体)

- 子供が目標をもち、運動に取り組むことができるようになります。
- 子供が自分で考え、健康な体、望ましい食習慣、きれいな環境をつくるようになります。
- 子供が自分で考え判断し、安全な行動をすることができるようにします。

思いやりのある子(徳)

- 子供が人とつながるために、進んで挨拶ができるようになります。
- 子供が思いや願いをもち、進んで活動できるようにします。
- 子供が学校生活の目標や目的をもち、友達と協力しながら達成するために活動できるようにします。

学校と家庭と地域が つながり合っ て 力を合わせて

- 子供と家族、子供と地域とのつながりを大事にします。
- 子供と一緒に、家庭や地域での生活や学習の目標を設定し、目標を達成できるように励まします。
- 子供が自分で考えて判断して行動することができるように、子供に問うたり、ほめたりする声かけをします。

- 子供が集中して学習に取り組むことのできる環境づくりをします。
- 子供と一緒に、家庭学習の目標や時間、内容を決めたり、確認をしたりします。
- 子供が自分から学習に取り組むことができるように、子供に問うたり、ほめたりする声かけをします。

- 子供が進んで運動に取り組むことができるように働きかけをします。
- 子供が早寝・早起き・朝ご飯・整理・整頓の習慣を身に付ける働きかけをします。
- 子供が安全に気を付けて行動するように見守り、子供に問うたり、働きかけたりします。

- 子供と挨拶をかわし、子供と一緒に地域の人に挨拶をします。
- 子供と心でつながり、子供と一緒に地域の人と関わります。
- 子供と一緒に、情報機器利用のルールを設定し、守ることができるように働きかけをします。

【学校では】

【家庭・地域では】

令和7年度 緑が丘小学校の教育

〒020-0111 岩手県盛岡市黒石野1-6-1
TEL 019(663)1515 FAX 019(665)1187
https://morioka-midorigaokasho.edumap.jp
児童数 595名 教職員数 44名 学級数 23



校歌 及川倫義
作曲 渡部精治
作詞 渡部精治
作曲 渡部精治
一 都の北のみどりの丘に
白い学舎 けだかく映えて
強く素直に豊かな心の
びる若葉を はぐくむところ
あ、緑が丘小学校
二 岩手の山は雲居をしのぎ
広い青空 世界につづく
大きい望と確かな技と
のびる若葉を はぐくむところ
あ、緑が丘小学校

スクール・ミッション

社会の変化にしなやかに対応するとともに、自らのよさや可能性を発揮して探求的に行動しながら、多様な他者と調和してよりよい未来を創る生命力豊かな人間

スクール・ポリシー

学校教育目標『生き生きとしたみどりの子』



	かしこい子(知)	たくましい子(体)	思いやりのある子(徳)
生きて働く知識及び技能	学んだ知識・技能を生活や学習に活用する子	健康で安全な生活の仕方を身に付けている子	生命の大切さが分かり、きまりを守る子
未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等	「考えるための技法」を使って、多面的・論理的に考え表現する子	「考えるための技法」を使って、試行錯誤しながら考え判断する子	「考えるための技法」を使って、他者の考えを生かしながら考えを深める子
学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等	自分の学習状況を自覚し、調整しながら学ぶ子	あきらめずに粘り強く最後までやり抜く子	主体的に他者と協働しながら学習や生活を進める子

多面的に思考する力、そして多面的に見たり考えたりしたことをもとに論理的に思考する力を育んでいく。その力を支えるのが自律性であり、協働性である。また、思考した結果、自覚性・実行性のある駆動する知識や技能が身に付いていく。

園

小学校

中学校

[スタートカリキュラム]
○遊びを通しての支援
○見取りに応じた支援

[三校連絡会、ブロック研]
○学び合い、学び続ける人間を育てる支援

個への支援

探究の学び

人格形成

学年・学級懇談会
保護者面談 など

地域と関わる探究的な学習

協働的に考えを深める授業

考える力を活用・発揮する活動・行事



地域とともにある学校



安全・安心

交通安全指導
図書ボランティア
学習ボランティア など

学校運営協議会
教育振興協議会
民生児童委員懇談会 など



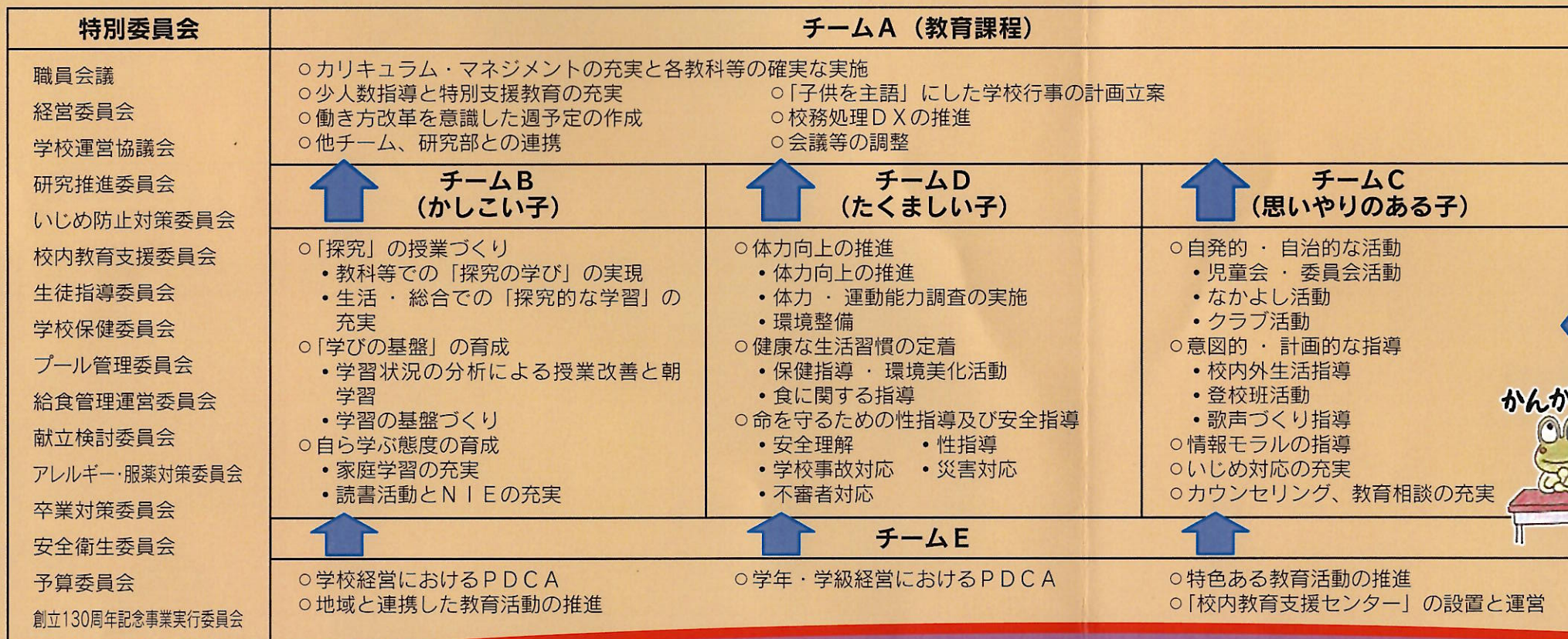
保護者



学校教育目標『生き生きとしたみどりの子』

育成を目指す資質・能力と子供像

	かしこい子(知)	たくましい子(体)	思いやりのある子(徳)
生きて働く知識及び技能	学んだ知識・技能を生活や学習に活用する子	健康で安全な生活の仕方を身に付けている子	生命の大切さが分かり、きまりを守る子
駆動性（自在性、実行性）			
未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等	「考えるための技法」を使って、多面的・論理的に考え表現する子	「考えるための技法」を使って、試行錯誤しながら考え判断する子	「考えるための技法」を使って、他者の考えを生かしながら考えを深める子
多面的思考力→論理的思考力			
学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等	自分の学習状況を自覚し、調整しながら学ぶ子	あきらめずに粘り強く最後までやり抜く子	主体的に他者と協働しながら学習や生活を進める子
自律性 協働性			



子供の考える力を高める授業

- 教科等間の「考えるための技法」の活用・発揮
 - 生活科・総合的な学習の時間、研究教科を核とした「考えるための技法」の活用・発揮
- 探究的に深い学びに向かう単元構成
 - 子供がつくる学習計画
 - 個別最適な学びと協働的な学びの位置付け
 - 振り返りによる学習の連続・発展と単元構成の修正
- 単位時間の考える活動の充実
 - 個別最適な学びの中での個への支援と見取り
 - 協働的な学びの中での個の把握に基づいた考えを深める支援（ファシリテーション）

心を開いた学級・学年経営

- 子供が創る学級・授業
 - 常に考える子供と支える教師
- 目的的に考えること
 - 目的を決め、目的を達成するための手段を考える生活・学習
- 心を開いた学級経営
 - 子供同士、子供と教師の心のつながり



教育活動全体を探究の学びに!! 探究の学びの連続・発展!!

「課題(目的)の設定と計画」→「情報の収集(課題の追究)」→「整理・分析」→「まとめ・表現(実行)」→「振り返り」